第46回 全日本都市対抗テニス大会結果報告

会場：SAGAサンライズパークテニスフィールド 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10（砂入り人工芝コート16面）

第46回全日本都市対抗テニス大会が7月２０日～２３日に佐賀県佐賀市「ＳＡＧＡサンライズパークテニスフィールド」で開催されました。

２０２０年からのコロナ禍の関係で、札幌チームは２０１９年鹿児島大会以来の４年振りの参加で、今大会は第３シードでの出場です。選手は札幌から社会人7名と東京からふるさと選手でリコー㈱の齋藤聖真選手と筑波大学の照井妃奈選手、齋藤選手の妹で早稲田大学の齋藤優寧選手、八木会長、山田監督で札幌チーム１２名と札幌から駆けつけていただいた応援団２名の総勢１４名で、北海道第一代表「札幌チーム」一丸となり戦ってきました。

会場のＳＡＧＡサンライズパークテニスフィールドは、砂入り人工芝１６面あり、来年佐賀国体が開催されるコートです。天候は梅雨明け前とのことでしたが、一度も雨に当たることはありませんでした。気温は連日３２度～３５度の猛暑・酷暑のなかでのタフな試合でした。猛暑・酷暑の中での試合でしたが、応援団の梅林様、奥田様から連日スポーツ飲料等の差し入れを沢山いただき、おかげ様で一人も体調を崩す選手はいませんでした。

大会２日目２１日（金）１回戦の対戦相手はなんと北海道帯広市です。曇り空でしたが３２度の蒸し暑い環境でした。一般女子照井・齋藤は初めてのペアでしたが、実力を発揮して１ゲームも与えずに勝利しました。一般男子齋藤・合田健人も初めてのペアでしたが、見事シーソーゲームを8-6で勝ち取りました。ベテラン１部島崎圭三・竹本光身は何度かペアを組んでいる強みもあり、接戦でしたが安定したプレーで8-5勝利しました。。ベテラン女子吉秋知美・遠藤ゆかりは粘り強いプレーを発揮して、接戦でしたが、終わってみれば8-3というスコアで快勝しました。ベテラン２部平井正・鈴木寛典は両選手の粘り強いプレーであと一歩というところまできましたが、結果タイブレークで負けました。惜しかったです。対帯広とは４－１で勝利しましたので、男女のシングルスは打ち切りとなりました。これでベスト１６です。明日は松本市に４－２で勝利した「広島市」です。明日の活力にと、八木会長から焼き肉のプレゼントを頂き、明日の必勝を皆で誓い合いました。

vs. 帯広市（１回戦）

会場	SAGA サンライズ パーク	種別	本　戦	1　回　戦

選手番号	都市	No	23	トータルスコア			24	選手番号
		名	帯広市	1	1 D 4 / S	4	札幌市	
	種目		選手名	スコア			選手名	
2	女子複		田辺　桃子	×	0 : 8	○	照井　妃奈	1
3			山下　ちなみ				齋藤　優寧	2
1	男子複		男澤　康介	×	6 : 8	○	齋藤　聖真	1
2			小林　歩実				合田　健人	2
1	ベテラン1部 男子複		黒田　洋輔	×	5 : 8	○	島崎　圭三	1
2			駒井　慎二郎				竹本　光身	2
1	ベテラン1部 女子複		江崎　紀代美	×	3 : 8	○	吉秋　知美	1
2			佐々木　裕子				遠藤　ゆかり	2
1	ベテラン2部 男子複		石塚　式美	○	9 : 8	×	平井　正	1
2			山本　智一		2		鈴木　寛典	2
3	女子単		山下　ちなみ		:		齋藤　優寧	2
2	男子単		小林　歩実		:		合田　健人	2

大会３日目２２日（土）２回戦広島市です。朝からギラギラした太陽が出ていて、朝から暑くて非常に厳しい天候でした。一般女子照井・齋藤と一般男子齋藤・合田は実力を十分に発揮して快勝しました。ベテラン１部島崎・竹本とベテラン女子吉秋・遠藤は共に接戦でしたが、あと一歩のところで負けました。この時点で対戦成績2-2です。ベテラン２部平井・鈴木は、昨日の敗北を教訓にミスの少ないプレーを粘り強く続けた結果、見事強敵に８－６で勝利しました。対戦成績3-2になり、あとはシングルス２本に懸かることになりました。女子照井が広島№1の選手に８－１で勝利して、男子齋藤は3-2リードで打ち切りとなり、広島市に４－２で勝利しました。これでベスト８です。５位以内が確定しましたが、札幌チームの目標は「本戦ベスト４以上」です。あと一つ勝たなければ目標に届きません。

vs. 広島市（２回戦）

会場	SAGA サンライズ パーク	種別	本　戦	2　回　戦

選手番号	都市	No	21	トータルスコア			24	選手番号
		名	広島市	2	2 D 3 / 0 S 1	4	札幌市	
	種目		選手名	スコア			選手名	
1	女子複		白神　佳菜	×	1 : 8	○	照井　妃奈	1
2			河野　由衣				齋藤　優寧	2
1	男子複		井上　哲平	×	3 : 8	○	齋藤　聖真	1
2			小田　龍輝				合田　健人	2
1	ベテラン1部 男子複		武田　将孝	○	8 : 5	×	島崎　圭三	1
2			相田　靖之				竹本　光身	2
1	ベテラン1部 女子複		秋吉　緑	○	8 : 5	×	吉秋　知美	1
2			清水　由佳				遠藤　ゆかり	2
1	ベテラン2部 男子複		河野　克徳	×	6 : 8	○	平井　正	1
2			中下　俊彦				鈴木　寛典	2
2	女子単		河野　由衣	×	1 : 8	○	照井　妃奈	1
2	男子単		小田　龍輝		2 : 3 打切り		齋藤　聖真	1

協会旗、応援旗を張る齋藤兄妹

３回戦の相手は「山口市」です。常連チームであり、過去に準優勝経験のある強敵です。ＮＢ１４時で一番暑い時間帯での試合開始です。車の温度計では３７度を表示しておりました。一般女子照井・齋藤が負けてしまい、一般男子齋藤・合田が大接戦の末タイブレークで落としてしまい、この時点で対戦成績０－２です。ベテラン１部島崎・竹本は、広島戦の敗北のくやしさを胸に秘めてコートに入り、始

帯広市との試合前に撮影

一般男女選手達

めは劣勢でしたが、中盤は大接戦で一喜一憂する白熱したゲーム展開で、最後はタイブレークを強気で攻めて見事勝ち取りました。ベテラン女子吉秋・遠藤も広島戦の敗北の教訓を話し合ってからコートに入りました。始めはシーソーゲームでしたが、後半に突き放して勝利しました。この時点で対戦成績2-2です。ベテラン２部平井・鈴木は、広島戦の好調を維持できずに強敵に負けました。残るはシングルスに懸かりました。女子齋藤は、山口№１の選手と対戦中スコア４―３の時に相手選手が体調不良により棄権しましたので、勝利しました。対戦成績3-3となり、勝敗は男子シングルスに懸かりました。男子合田は札幌チーム全員の必死の声援を背中に受けて、灼熱のコートの中を走り回り精魂尽きるまで死闘を繰り広げましたが、最後の最後に勝利の女神は山口に微笑みました。対戦成績3-4で負けました。選手１０名は本当に力の限り精一杯プレーしてくれました。また、応援団の方々も声を枯らしながら応援していただきました。

札幌チーム一丸となって、第５位になったことは、本当に誇れることだと思います。目標のベスト４には手が届きませんでしたが、前回鹿児島大会の時よりも「ベスト４」が近くに感じることができました。来年２０２４年大会は、滋賀県大津市で開催されます。来年にむけて「今年以上の成績」を目標に掲げて練習会を開始する予定です。

会長・応援団・大会役員の方々

最後になりますが、炎天下の過酷な条件のなか、札幌市の看板を背中に背負って、必死になってボールを追って走ってくれた選手の皆さんに敬意を表します。たいへんお忙しい中我々と行動を共にしていただきました八木会長、応援団の梅林様、奥田様、札幌からメールやラインで応援メッセージを送ってくれました佐藤副会長、蒲生理事長、山﨑副理事長、また応援していただいた札幌テニス協会会員の方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。皆さんのお陰で、堂々と全国５位に入賞することが出来ました。ありがとうございました。

山田 直樹
＜都市対抗 札幌市チーム監督＞＝文

vs. 山口市（３回戦）

会場	SAGA サンライズパーク	種別	本　戦	3　回　戦

選手番号	都市	No	18	トータルスコア					24	選手番号
		名	山口市	4	3 / 1	D / S	2 / 1	3	札幌市	
	種目		選手名	スコア					選手名	
1	女子複		鈴木　渚左	○	8	:	2	×	照井　妃奈	1
2			吉本　菜月						齋藤　優寧	2
1	男子複		寺本　嵩史	○	9	:	8	×	齋藤　聖真	1
3			手嶋　海陽			4			合田　健人	2
1	ベテラン1部 男子複		磯金　徹	×	8	:	9	○	島崎　圭三	1
2			松永　一郎			4			竹本　光身	2
1	ベテラン1部 女子複		大形　悦子	×	5	:	8	○	吉秋　知美	1
2			日野村　伸子						遠藤　ゆかり	2
1	ベテラン2部 男子複		十楽　浩之	○	8	:	3	×	平井　正	1
2			小田　俊明						鈴木　寛典	2
2	女子単		吉本　菜月	×	3 Ret	:	4	○	齋藤　優寧	2
3	男子単		手嶋　海陽	○	8	:	6	×	合田　健人	2

5位表彰式

山口市と試合前に撮影